

取扱説明書 ワイヤレスモニター

品番 UN-DM15C1
UN-DM10C1



安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。
(54 ～ 60 ページ)

接続と設定を行う

お買い上げ時は、10 ページから
接続・設定を行ってください。


モニターの準備 ▶ 

視聴 ▶ 

録画 ▶ 

再生・消去 ▶ 

便利機能 ▶ 

必要なとき ▶ 

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

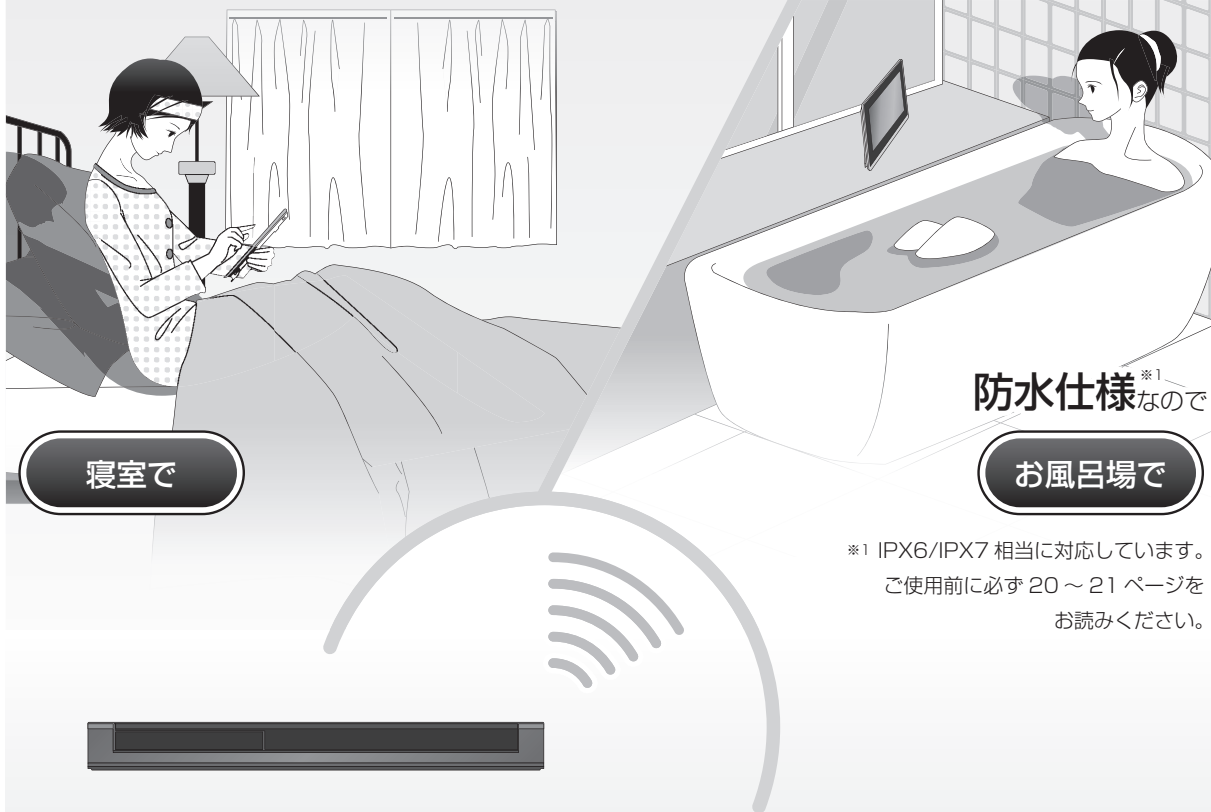
特長

レコーダーと組み合わせて
モニターからワイヤレスで見たい番組が楽しめる



「録る」・「見る」などレコーダーの基本操作を楽しめます

使用する場所の電波状況によっては、映像が乱れたり、安定しない場合があります。



寝室で

防水仕様^{※1}なので

お風呂場で

※1 IPX6/IPX7 相当に対応しています。
ご使用前に必ず 20～21 ページを
お読みください。

モニターとの接続に対応した
当社製ブルーレイディスクレコーダー（別売）^{※2}が必要です。

モニターのみで使用することはできません。

対応するレコーダーの機種は、次のページの当社ホームページをご確認ください。

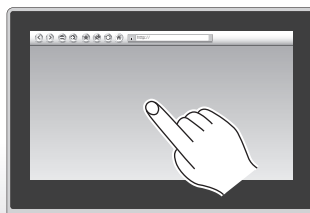
※2 ● レコーダーの機種によっては、ソフトウェアの更新が必要です。

- 無線LANを内蔵していないレコーダーの場合、無線ブロードバンドルーターも必要になります。
- モニターが接続できるレコーダーは1台です。レコーダーが接続できるモニターの台数は、レコーダーの機種によって異なります。
- レコーダーの操作など詳細については、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

タッチ操作で 予約も再生もかんたん



ネットワークにつないで インターネットを楽しむ

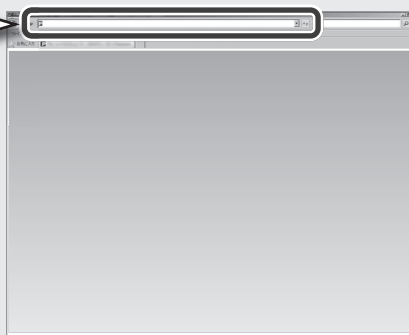
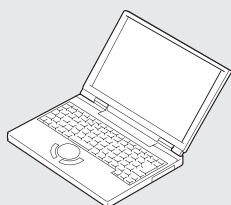


対応レコーダーなどの詳しい情報は

当社ホームページ

お持ちのパソコンからご覧ください。

ブラウザのアドレスバーに
diga.jp と入力



モニターを使用いただくとための、サポート情報を掲載しています。

- 対応のブルーレイディスクレコーダーや連携できる機器品番情報などを確認できる「動作確認情報一覧」
- 困ったときや、用語を調べたいときの「よくあるご質問」など

ホームページの内容は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

はじめに	5
設置に関するお知らせ	6
付属品	8
各部の働き	9

接続と設定を行ってください	10
---------------------	----

☐ モニターの準備

防水について	20
モニターを設置する	22
●壁に固定して使用するとき	23
充電する・電源を入れる	25
●充電する	25
●電源を入れる	25
●電源を切る	25
モニター画面の操作について	26
ホーム画面について	27
●ステータスバーの表示について	27

☐ 視聴

テレビを見る	28
●視聴中の操作	29

🕒 録画

放送中の番組を録画する	30
●録画中の操作	30
予約録画する	31
●番組表の表示切替	31
●予約内容の確認・取り消し	32
●番組表・予約一覧で表示される アイコンについて	32

📺 再生・消去

再生する	33
●再生中の操作	34
消去する	35

💡 便利機能

モニターで視聴中や再生中の番組を テレビに映す	36
モニターをリモコンとして使う (DIGA リモコン)	37
Web ブラウザを使う	38
●ブラウザの基本操作	39
他の機器とお部屋ジャンプリンクを 利用する	41

? 必要なとき

設定する	42
ソフトウェアの更新について	45
取り扱いについて	45
こんな表示が出たら	47
モニターの廃棄について	48
故障かな!?	50
仕様	52
著作権など	53
保証とアフターサービス (よくお読みください)	61
さくいん	63

設置について

- レコーダーなどの熱源となるものの上に置かない。
- 不安定な場所に設置しない。
- 重いものを上に載せない。
- モニターの液晶画面を下にして置かない。
(液晶画面の表面に傷がつく原因になります)

温度上昇について

モニターを使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。お手入れなどをするときには、電源を切って AC アダプターを外して、3 分以上待ってください。

- 温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

廃棄 / 譲渡するときは

廃棄や譲渡などでモニターを手放される場合は、「設定リセット」(→44) を実行してください。

- 廃棄時は、電池のリサイクルにご協力ください。(→48)

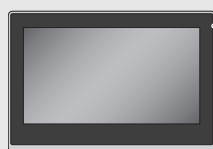
インターネットの閲覧制限機能について

インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。詳しくは 38 ページをご覧ください。

番組などの消去について

番組の消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

操作を受け付けなくなったときは…



[電源ON/OFF]を
3秒以上押す

電源が切れます。

故障かな!? と思った場合 →50

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを(→○○)で示しています。
- モニターとの接続に対応した当社製レコーダー(別売)を「レコーダー」と記載しています。
- 本書におけるモニターおよび画面のイラストは、UN-DM10C1 のものです。
- UN-DM15C1 と UN-DM10C1 で説明が異なる場合は、**UN-DM15C1** **UN-DM10C1** の表記で示しています。

設置に関するお知らせ

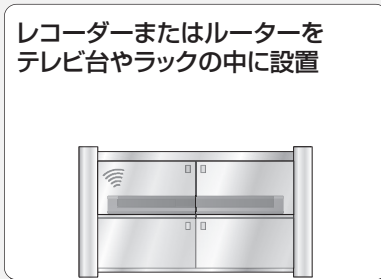
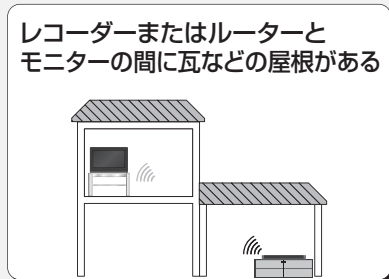
本製品（モニター）は、レコーダーからの映像を受信するために、無線の電波を使用しています。パソコンでのホームページ閲覧などと比較すると、映像の送信は情報量が多く、電波が届きにくい条件で使用する、映像が途切れたり、停止しやすくなります。

どんな場合に電波が届きにくいのか？

レコーダーまたはルーターとモニターの直線上に、以下のような障害物があると電波は届きにくくなります。

- 金属（鉄筋コンクリート、金属製家具など）
- 水
- 人

また、以下のような場所も電波が届きにくくなります。



電波の受信状態を確認するには

「ネットワーク／無線状態」の画面（→43）で「電波状態（受信レベル）」のインジケーターが4つ以上（受信レベル 30 以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。

- テレビ視聴中や再生中は「無線電波状態」（→29、34）からも受信レベルの確認ができます。

電波が届きやすくするには

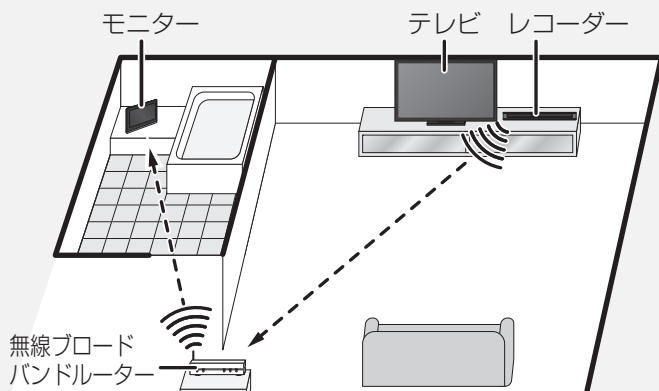
① 設置場所を変更してみる

- 電波が届きにくくなる障害物がないように設置してください。
- レコーダーまたはルーターとモニターの距離が近くなるように設置してください。
- モニターに表示されるアンテナ本数は、アンテナの受信強度を表します。電波の状態を確認する目安にしてください。（ただし、本数が多い場合でも、電波干渉などの影響で、映像が途切れたり、停止することがあります）

② シンプル Wi-Fi で接続している場合（無線 LAN 内蔵のレコーダーのみ）、
無線ブロードバンドルーターを使って接続してみる（→11）

無線ブロードバンドルーターを使って、無線で接続する箇所に障害物がないように設置すると電波が届きやすくなります。

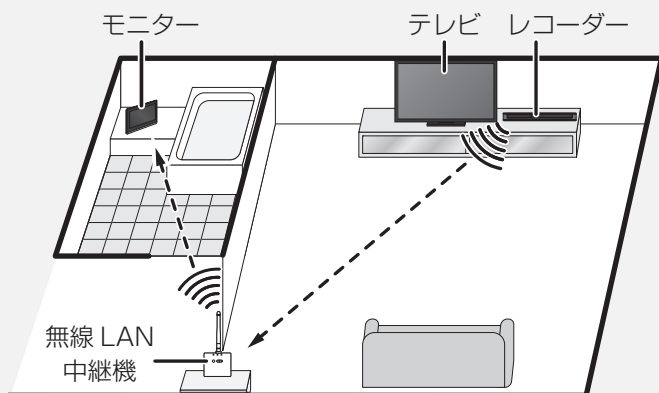
設置例



③ **無線 LAN 中継機（別売）を使う**

無線 LAN 中継機を使うと、電波の届く範囲が拡張され、電波が届きやすくなります。

シンプル Wi-Fi で接続している場合の設置例（無線 LAN 内蔵のレコーダーのみ）



無線 LAN 中継機の設置について

- 電波の届きにくい場所（→6）を避けて、機器同士の距離が近くなるように設置してください。
- モニターを移動させて受信レベルを確認し（→6「電波の受信状態を確認するには」）、電波の状態が良好な位置に無線 LAN 中継機を設置してください。
- 無線 LAN 中継機の設定や詳細に関しては、無線 LAN 中継機の取扱説明書をご覧ください。

モニターの「無線と映像品質の設定」（→42）について

レコーダーからモニターに映像を送信するときに、映像が高画質なほど（録画モードが DR や 3 倍録で録画した番組など）、電波の通信状態によって映像が途切れたり、停止する可能性があります。

モニターには、レコーダーから映像を送信する際に、画質を落として映像を送信しやすくする「無線と映像品質の設定」があります。

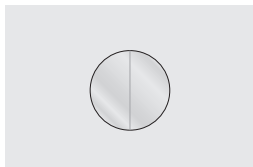
電波が届きにくい場合は、「自動」または「無線優先」に設定することで、映像の途切れなどを抑えることができます。

- お買い上げ時の設定は「自動」です。

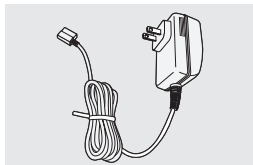
付属品



吸盤ホルダー（1 個）
RFA3452



吸盤ホルダー用取付シート
（1 個）
RFE0243



マグネットタッチ式
AC アダプター（1 個）
RFEA232J

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2013 年 8 月現在のものです。変更されることがあります。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

CLUB Panasonic

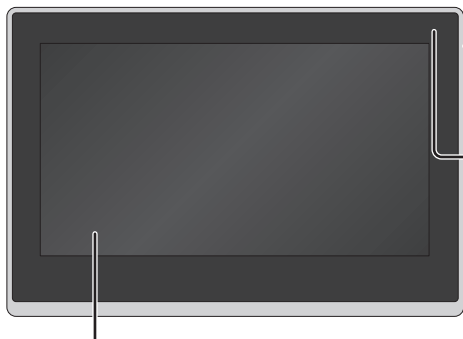
Pana Sense

携帯電話からもお買い求めいただけます。



<http://p-mp.jp/cpm/>

各部の働き



タッチパネル

静電容量方式のタッチパネルです。



電源 〇/I

電源を切 / 入する

ランプ

以下の場合に点灯・点滅します。

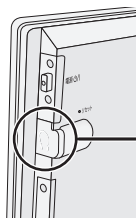
- (緑で) 点滅 : 電源を入れたとき
 - その後、消灯します。
- (赤で) 点灯 : 充電中
- (赤で) ゆっくり点滅 : 電池残量が不足している場合
- (赤で) 速く点滅 : エラーが発生した場合など
 - 「こんな表示が出たら」(→47)で確認してください。

リセットボタン

電源の切 / 入ができないなどモニターが正常に動作しないときなどに、クリップのようなものを使って押してください。

ふたを開けたとき

ヘッドホン／イヤホン端子
Ø3.5 mm ステレオ
ミニジャック



くぼみ部に爪をかけて
開いてください。

防水について (→20)

DC IN
端子

スピーカー (音孔)

スピーカー (音孔)

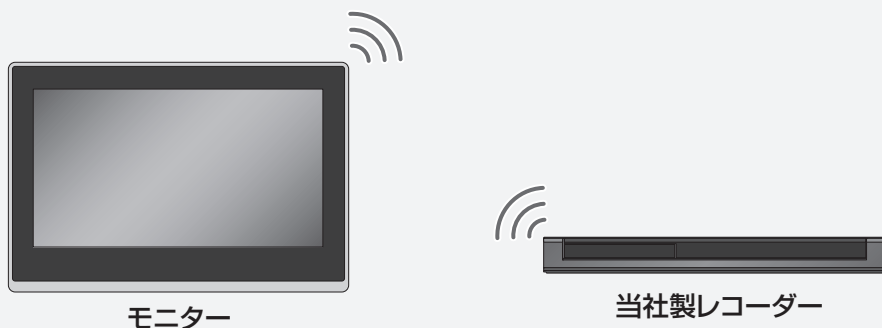
接続と設定を行ってください

次のいずれかの接続と設定を行い、レコーダーと接続します

レコーダーとテレビの接続・設定がまだの場合は先に行ってください。

シンプル Wi-Fi で接続する場合（無線 LAN 内蔵のレコーダーのみ）

シンプル Wi-Fi に対応したレコーダーの場合、モニターとレコーダーを直接接続できます。



12 ページから手順①～④を行ったあと、**14** ページの手順でレコーダーと接続します。



無線ブロードバンドルーター（無線 LAN アクセスポイント）で接続する場合

先にレコーダーのネットワーク設定を行い、無線ブロードバンドルーター（無線 LAN アクセスポイント）と接続しておいてください。



12 ページから手順 ① ～ ④ を行ったあと、**15 ～ 17** ページの手順でレコーダーと接続します。

レコーダーと無線ブロードバンドルーターは、有線または無線で接続できます。

- 無線 LAN 内蔵のレコーダーを有線接続した場合、お買い上げ時の設定ではシンプル Wi-Fi (→ 10) で接続されます。電波が届きやすくするためにルーターと接続したい場合は、シンプル Wi-Fi でいったん接続したあと、「接続方法の変更」(→ 43) を行ってください。

無線ブロードバンドルーター（無線 LAN アクセスポイント）

5 GHz 推奨



安定した通信のため、802.11n のルーターをお使いのうえ、5 GHz でのご使用をお勧めします。
(→46 「使用制限」)

- 動作確認済みのルーターについては、当社ホームページ(→3)をご覧ください。
- ルーターは、暗号化設定してお使いください。
- ルーターの詳細については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

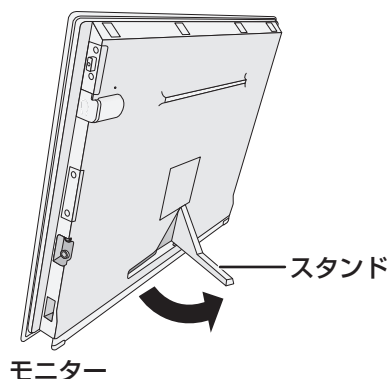
接続と設定を行ってください (続き)

① 設置する

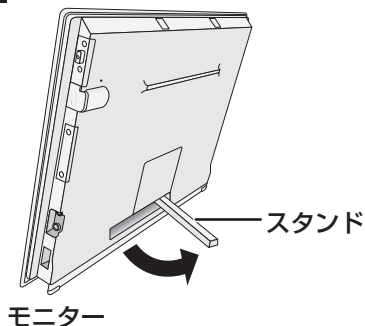
スタンドを開き、水平で安定した場所に置く

スタンドは「カチッ」と音がするまで開いてください。

UN-DM15C1

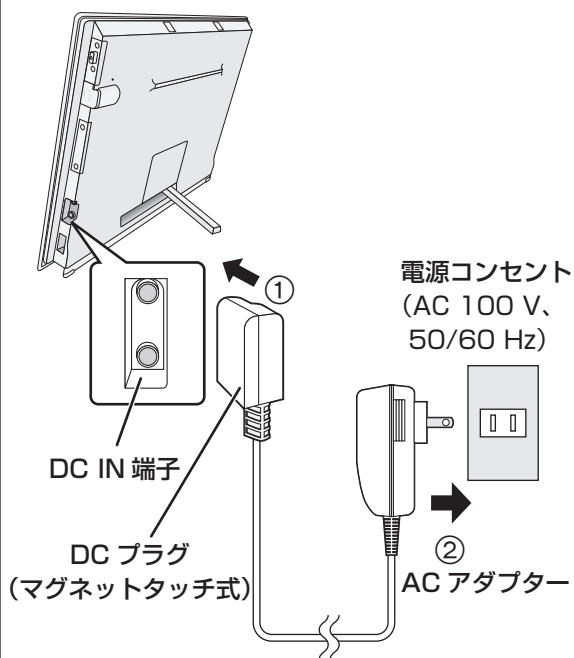


UN-DM10C1



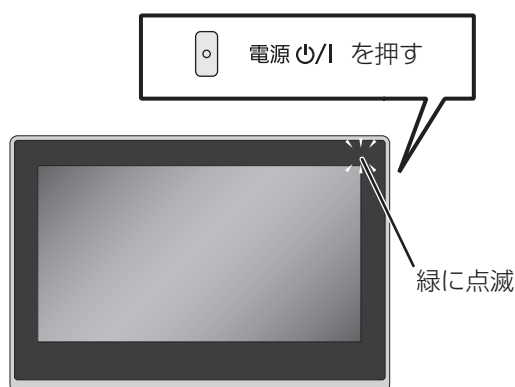
② AC アダプターを接続する

AC アダプターを接続する

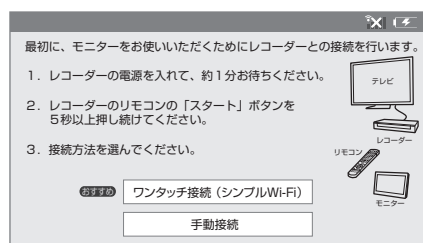


③ 電源を入れる

モニターの電源を入れる



その後、モニターに以下の画面が表示されます。



④ レコーダーを準備する

レコーダーの操作

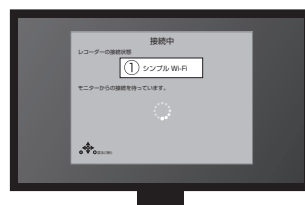
1 レコーダーとテレビの電源を入れる

- ・テレビはレコーダーを接続した入力に切り換えてください。
- ・約1分待つて、手順2を行ってください。

2 レコーダーのリモコンの

「スタート」ボタンを5秒以上押す

- ・レコーダーの接続状態が、テレビ画面に表示されます。



テレビ画面に応じて、必要な設定を行ってください。(→14～18)

お知らせ

- ・レコーダーに接続したテレビに画面が表示されない場合は、レコーダー側に以下の原因が考えられます。
 - ・「スタート」ボタンを押す時間が短い
 - ・最新のソフトウェアに更新されていない
 - ・モニターとの接続に対応していない(→3「動作確認情報一覧」)
 - ・ダビングなどの動作をしている
- ・テレビに画面が表示されると、レコーダーの表示窓では「LINK」と表示します。



接続と設定を行う

接続と設定を行ってください(続き)

⑤ レコーダーと接続する

モニターの操作



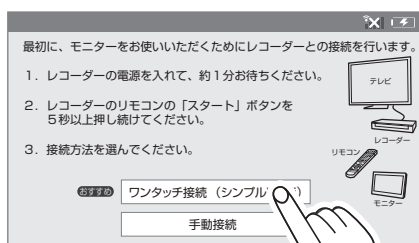
13 ページ手順④で、「レコーダーの接続状態」が

「① シンプル Wi-Fi」

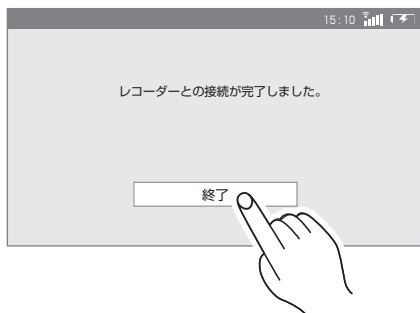
とテレビに表示された場合



1 「ワンタッチ接続(シンプル Wi-Fi)」を選ぶ



2 「終了」を選ぶ



お知らせ

- モニターとレコーダーの接続を行うと、以下のレコーダーの設定が有効になります。
 - ・「お部屋ジャンプリンク機能」
 - ・「宅外リモート接続機能」
 - ・「クイックスタート」

⑤ レコーダーと接続する

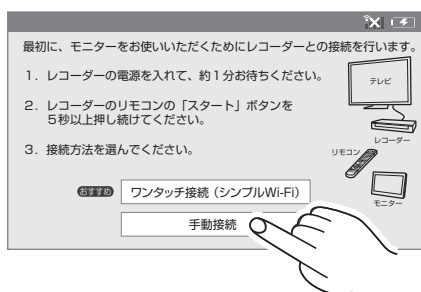
モニターの操作



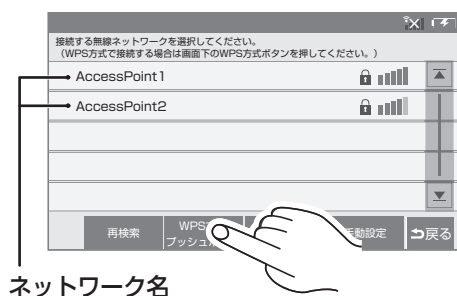
13 ページ手順 ④で、「レコーダーの接続状態」が
「② 無線接続」とテレビに表示された場合



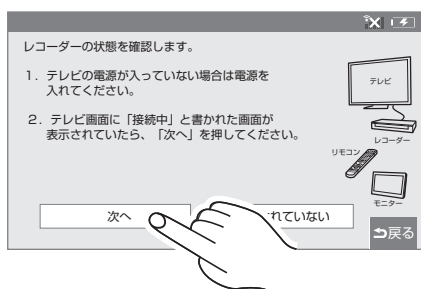
1 「手動接続」を選ぶ



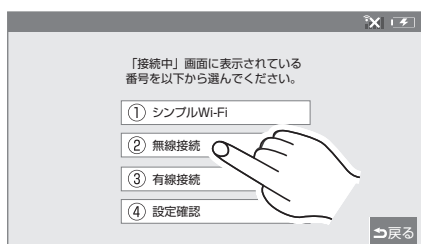
4 無線 LAN アクセスポイントと接続する



2 「次へ」を選ぶ



3 「②無線接続」を選ぶ



ルーターが WPS (Wi-Fi Protected Setup™) に対応している場合

「WPS 方式 プッシュボタン」を選んでください。

- ルーターの WPS ボタンを使って、モニターとルーターを簡単に接続できます。ルーターが WPS に対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

ルーターが WPS に対応していない場合

接続するネットワーク名を選んでください。

- ネットワークの暗号化キーが必要です。ルーターの取扱説明書などをご覧ください。

画面の指示に従って、設定してください。

お知らせ

- モニターとレコーダーの接続を行うと、以下のレコーダーの設定が有効になります。
 - ・「お部屋ジャンプリンク機能」
 - ・「宅外リモート接続機能」
 - ・「クイックスタート」

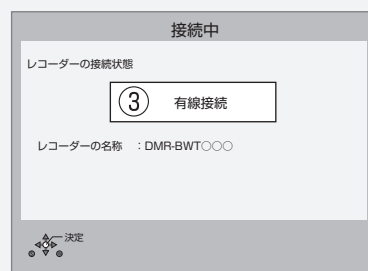
接続と設定を行ってください(続き)

⑤ レコーダーと接続する

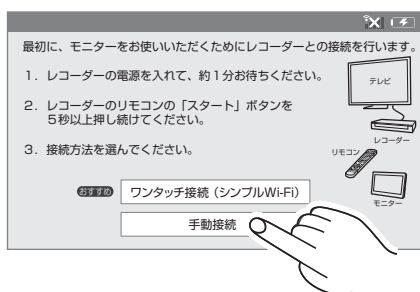
モニターの操作



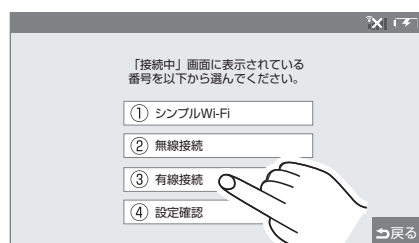
13 ページ手順④で、「レコーダーの接続状態」が
「③ 有線接続」とテレビに表示された場合



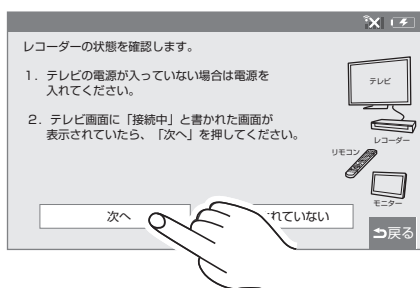
1 「手動接続」を選ぶ



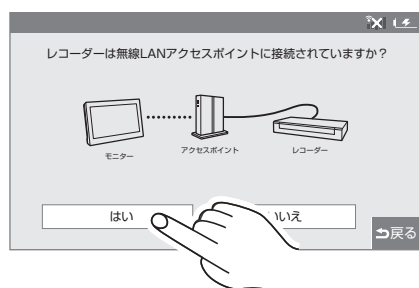
3 「③有線接続」を選ぶ



2 「次へ」を選ぶ



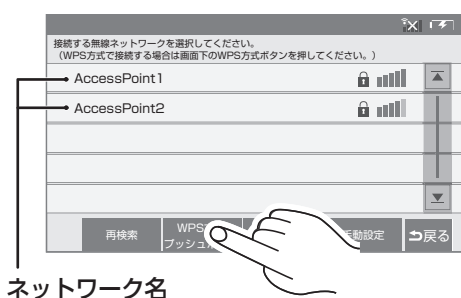
4 「はい」を選ぶ



- 接続機器が無線LANアクセスポイントかどうかについては、接続機器の取扱説明書をご覧ください。



5 無線 LAN アクセスポイントと接続する



ルーターが WPS に対応している場合

「WPS 方式 プッシュボタン」を選んでください。

- ルーターの WPS ボタンを使って、モニターとルーターを簡単に接続できます。ルーターが WPS に対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

ルーターが WPS に対応していない場合

接続するネットワーク名を選んでください。

- ネットワークの暗号化キーが必要です。ルーターの取扱説明書などをご覧ください。

画面の指示に従って、設定してください。

お知らせ

- モニターとレコーダーの接続を行うと、以下のレコーダーの設定が有効になります。
 - ・「お部屋ジャンプリンク機能」
 - ・「宅外リモート接続機能」
 - ・「クイックスタート」

接続と設定を行ってください(続き)

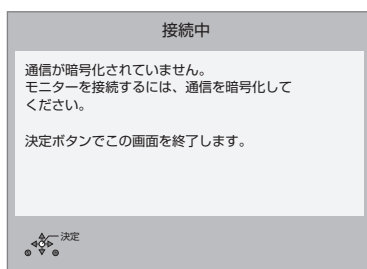
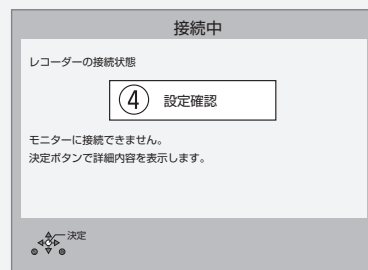
レコーダーの操作

13 ページ手順 ④で、「レコーダーの接続状態」が

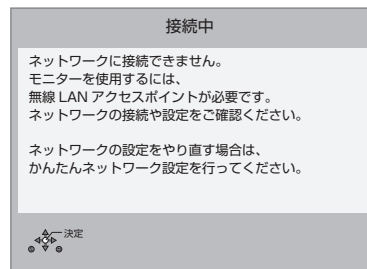
「④ 設定確認」とテレビに表示された場合

モニターとレコーダーを接続する前に、テレビの画面の指示に従い、レコーダーの設定を変更してください。

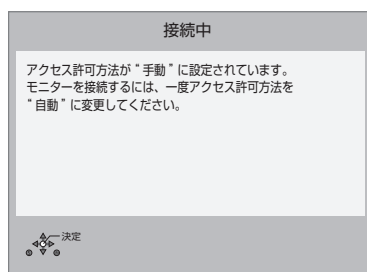
- レコーダーの設定方法については、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- モニターの電源は、いったん切ってください。



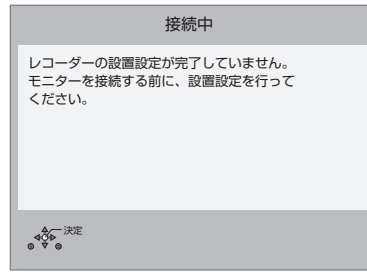
無線LANアクセスポイントの通信が暗号化されていません。通信を暗号化し、レコーダーのネットワーク設定を行ってください。



無線LANアクセスポイントを設置し、レコーダーのネットワーク設定を行ってください。



レコーダーの「アクセス許可方法」を「自動」に変更してください。



レコーダーの設置設定を行ってください。

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。

免責事項について

- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

ネットワーク機能を快適に利用するために

不正利用を防ぐために

- 当社では、ネットワークのセキュリティに関する技術情報についてはお答えできません。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク（SSID*）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

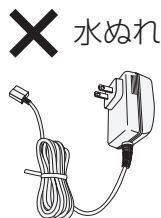


接続と設定を行う

防水について

モニターは、JIS C 0920 (IEC 60529)「電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」の IPX6/IPX7 相当の防水仕様となっています。ご使用前に、以下の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 付属の AC アダプターは、防水仕様ではありません。



IPX6/IPX7 について

- IPX6（噴流に対する保護等級）について
常温の水道水にて、機器から約 3 m 離れて、内径 12.5 mm のノズルであらゆる方向から約 100 L/分の水を 3 分以上注水したあと、機器の機能が動作することに対応しています。
- IPX7（浸水に対する保護等級）について
常温の水道水にて、水深 1 m に機器を静かに沈め、30 分間放置して取り出したあと、機器の機能が動作することに対応しています。

モニターの防水対象液体

対応	真水、水道水、温水
非対応*	石けん水、シャンプー、洗剤、 温泉水、プールの水、海水

※ 対応以外の液体につけないでください。

入浴剤の使用について

ご使用いただける入浴剤については、下記のホームページでご確認ください。

(硫黄、塩分を含む入浴剤は使用できません)

<http://panasonic.jp/support/av/bath/>

- 入浴剤の原液や粉末が付着した場合や正常に動作しない場合は、水で洗い流したあと、乾いた柔らかい布でふいてください。

水場（浴室や台所など）での使用時のお願い

付属の吸盤ホルダーを装着してお使いください。
(→23)

以下をお守りください。誤った使用は故障の原因になります。

- 端子ふたをしっかりと閉じる
- AC アダプターを接続して使用しない
- ヘッドホンを接続して使用しない
- IH クッキングヒーターの上に置かない
- 故意に水の中や湯ぶねの中などに入れたり、水中で操作しない

誤って湯ぶねに落とした場合は、すぐに拾って柔らかい布でふいてください。

- 浴室など湿気の多い場所に放置しない
- サウナやミストサウナで使用しない

防水性を保つために

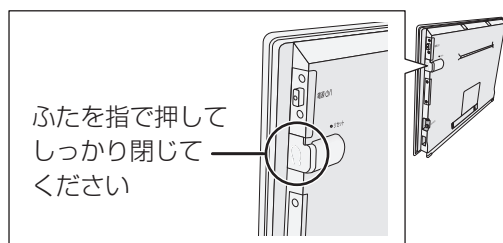
モニターを落としたり、ぶつけたり、強い圧力をかけない

モニターが変形や破損し、防水性が保てなくなります。

防水性を維持するため、2 年に 1 度はモニターの内部にあるゴムパッキンなどの防水に関する部品の交換（有料）をお勧めします。お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(→62) へお問い合わせください。

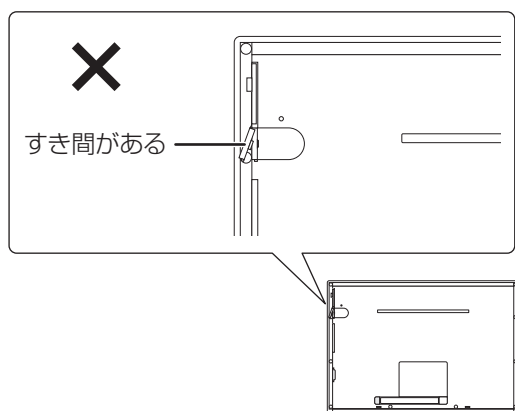
端子ふたの取り扱い

ふたが開いたまま使用すると内部に水が入り故障の原因になります。ご使用前には、ふたをしっかりと閉じてください。



ふたを閉じるときは、以下のことにご注意ください。

- 手がぬれた状態やモニターに水滴が付いたままにふたを開け閉めしないでください。
- ふたを閉じたあと、すき間がないか確認してください。



水場での使用後

モニターを乾いた柔らかい布でふき、室内に置いてください。

- 入浴剤の使用後は、まず水で洗い流してください。
- ACアダプター (→12) は防水仕様ではありません。DC IN 端子に水分や汚れがある場合は、AC アダプターを接続する前に綿棒や布などでふき取ってください。
- 石けん水やシャンプーなどがかった場合は、常温の水道水を弱めの水量にして洗い流したあと、ふいてください。(洗剤で洗わないでください)
- ドライヤーなどの熱風で乾かさしないでください。
- 寒冷地で、水滴が付いたまま放置しておくと凍結し、ふたが開かなくなるなどの原因になります。

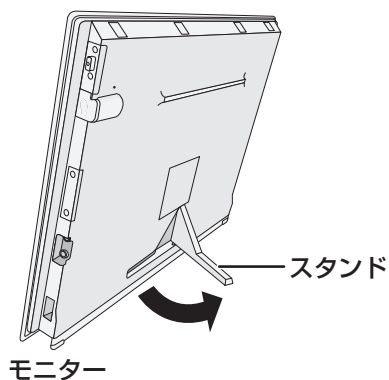
万一、モニター内部に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いによる故障の場合は保証対象外となります。

モニターを設置する

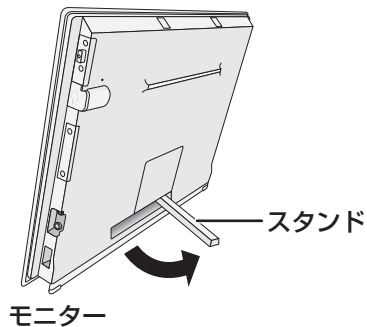
スタンドを開き、水平で安定した場所に置く

- スタンドは「カチッ」と音がするまで開いてください。

UN-DM15C1



UN-DM10C1

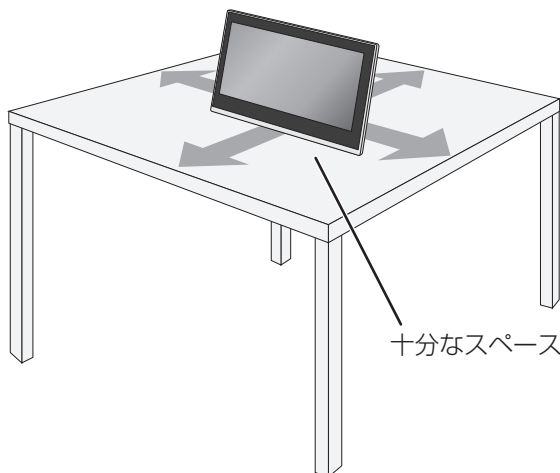


お知らせ

- モニターをじゅうたんなどの上に置くと、スピーカーをふさいでしまい音が小さく聞こえる場合があります。

設置場所について

モニターは、不安定な場所に置かないでください。
テーブルの上などに置いて使用するときは、万一転倒しても落下しないように、モニターの前後左右に十分なスペースを確保して置いてください。

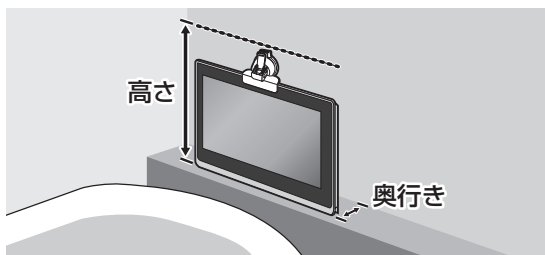


壁に固定して使用するとき

付属の吸盤ホルダーで、モニターを壁面に固定してお使いいただけます。

設置には以下のスペースが必要です。

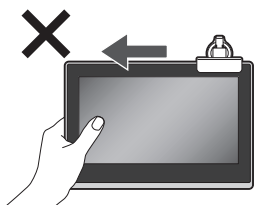
- **UN-DM15C1** 高さ 34 cm 以上、奥行き 5 cm 以上
- **UN-DM10C1** 高さ 26 cm 以上、奥行き 5 cm 以上



吸盤*の取り付けについて

以下をお守りください。

- ぬれているときは、水分をふき取る。
石けん水やシャンプー、洗剤、ほこりなどが付いているときは、水で洗い流した後、水分をふき取る。
- 以下の面には使わない。吸盤が吸着しません。
 - ざらついた面
 - 湾曲した面
 - 凹凸のある面
- 頭より高いところなど、高所への設置はしない。
外れる可能性があります。
- 長時間、吸盤ホルダーを壁に付けたまま放置しない。
(吸着が悪くなり、吸盤がはがれやすくなります)
吸着性を保つため、1 日に 1 回程度吸盤ホルダーの付け直しをしてください。
- 壁に固定後、モニターを左右に動かさない。
モニターが吸盤ホルダーから外れ、落下するなどのおそれがあります。



- 吸盤ホルダーはモニター設置用途以外での使い方をしない。

※ 吸盤ホルダー用取付シート (→24) 使用時も同じです。

お知らせ

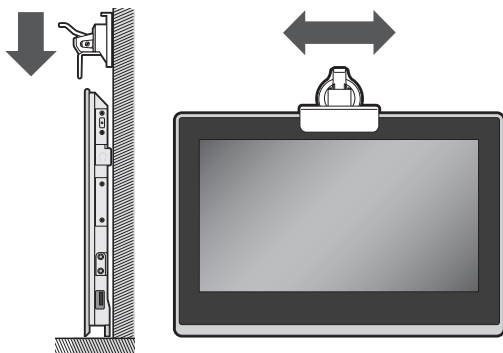
- 上記をお守りいただいても、取り付け場所によっては、吸盤が吸着しなかったり、短時間で外れたりする場合があります。付属の取付シートを使うと吸着しやすくなります。 (→24)

1 モニターを、吸盤が十分吸着する壁に当てる

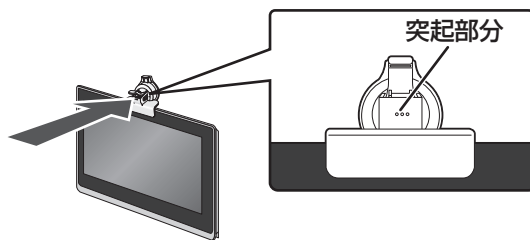
- 床に対し垂直な壁に設置してください。

2 吸盤ホルダーを上からしっかり差し込む

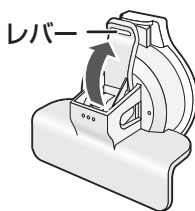
吸盤ホルダーがモニター中央の位置になるよう調節してください。



3 吸盤が密着するよう突起部分を押し付ける



4 レバーを矢印の方向に上げる



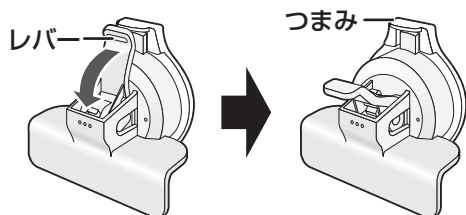
モニター
の準備

モニターを設置する (続き)

壁に固定して使用するとき (続き)

吸盤ホルダーを取り外す

- ① レバーを矢印の方向に下げ、ロックを解除する
- ② 吸盤のつまみを持って外す



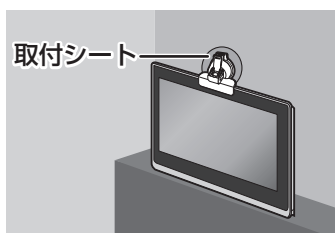
お知らせ

- 吸盤ホルダーを長期間使用しない場合、ロックを解除しておいてください。

吸盤ホルダー用取付シートの使い方

裏面のシートをはがし、壁に貼った後、シート全体をしばらく押さえ付けてください。

- 取付シートの糊面に触れないでください。



お知らせ

- 粘着力が弱くなるため、一度貼った取付シートは貼り直さないでください。
- 温度が低いときに取付シートを貼り付けると、貼り付きにくいことがあります。

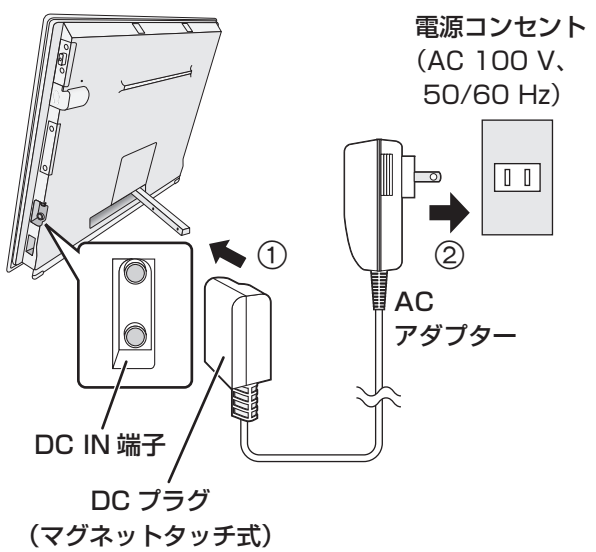
充電する・電源を入れる

充電する

お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。

- モニターはリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。製品廃棄のとき以外は取り外さないでください。

モニターに AC アダプターを接続する



充電中は、ランプが赤に点灯、完了すると消灯します。



- 「エコ充電」で充電することもできます。(→43)

お知らせ

- AC アダプターは防水仕様ではありません。DC IN 端子に水分や汚れがある場合は、AC アダプターを接続する前に綿棒や布などでふき取ってください。
- 電源が切れた状態でも、電力を消費しています。(→52)
長期間使用しないときは、節電のため AC アダプターをコンセントから抜くことをお勧めします。

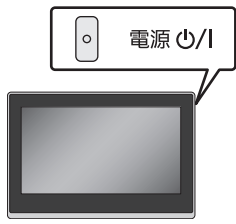
充電時間と電池持続時間

充電時間※1		電池持続時間※2※3
電源「切」時	電源「入」時	
UN-DM15C1		約 4 時間 15 分
約 3 時間 45 分	約 12 時間	
UN-DM10C1		
約 3 時間 15 分	約 10 時間	

- ※1 20℃
 - ※2 テレビ視聴時 / 20℃ / ヘッドホン使用 / 液晶画面の明るさ「-5」
 - ※3 エコ充電「切」で充電した場合
(エコ充電「入」で充電した場合の電池持続時間は、エコ充電「切」時の約 80 %になります)
- 上記の時間は使用条件により異なります。

電源を入れる

[電源 〇/I] を押す



- お買い上げ時は設定画面 (→13)、それ以降はホーム画面 (→27) が表示されます。

電源を切る

[電源 〇/I] を押す



モニター
の
準備

モニター画面の操作について

モニターの操作は画面に触れて行います。
目的に合わせた方法で操作してください。

項目を選ぶ

画面に触れて離す
(タッチする)



選択項目や操作ボタンを選ぶときに、この操作を行います。

表示を切り換える

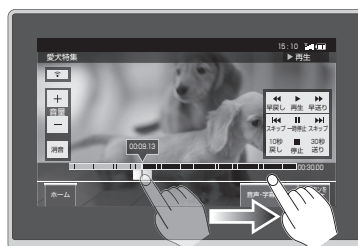
指で画面を上下または左右にはらう
(フリックする)



番組表や録画一覧で、一覧表示を素早くスクロールしたいときなどに、この操作を行います。

再生位置や表示を前後させる

画面に触れたまま指を上下または左右に動かす
(ドラッグする)



再生を先に進めたり、戻したりするときや一覧表示を前後させるときなどに、この操作を行います。

お知らせ

- モニターを持つ手が画面を押さえていると、正常に動作しません。
- 先のとがったものや硬いもので押さないでください。
- 爪の先で触れたり、手袋をはめた状態で触れたりすると反応しない場合があります。
- 画面を強い力でこすったり、押ししたりしないでください。
画面が指紋などで汚れた場合は、電源を切った状態にしてから乾いた柔らかい布などでふいてください。
- 市販の画面保護シートによっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります。市販の画面保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。
- モニターが倒れないように片方の手で支えながら操作してください。
- 画面や手がぬれた状態で操作する場合、反応が悪くなる場合があります。

ホーム画面について

モニターでの操作はホーム画面から行うことができます。
ホーム画面は電源を入れたときや、「ホーム」を選んだときに表示されます。

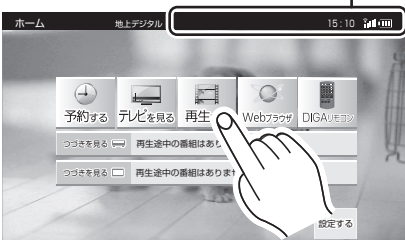
1 「ホーム」を選ぶ

●表示がない場合は、画面に触れると表示します。



2 操作したい項目を選ぶ

ステータスバー



3 画面に従って、操作する

ステータスバーの表示について

モニターの状態は、画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで確認することができます。

アイコン	状態
(例) 15:10	現在時刻
●録画	録画中
録画	録画準備中または録画一時停止中
↓	レコーダーから無線優先で画質を落とした映像を受信中 ●「無線と映像品質の設定」(→42)が「自動」または「無線優先」の時のみ表示されます。 <div>画質優先時 無線優先時</div> <div>表示なし (青) (黄)</div>
無線接続確認中	レコーダーとの接続確認中
無線通信レベル	無線で通信中 本数は受信レベルを表します ●本数が多い場合でも、電波干渉などの影響で、映像や音声途切れたり停止することがあります。(→6)
無線接続失敗	レコーダーと非接続状態
無線接続複数	レコーダーに複数のモニターが接続中 ●無線通信の状況により、映像や音声途切れたり停止することがあります。
電池残量	電池の残量表示 <div>満充電 点減</div> ●点減している場合、充電してください。 ACアダプター接続中 エコ充電(→43) エコ充電(→43) 「切」 「入」 <div>充電オフ 充電オン</div>
スピーカーオフ	モニターを消音中

モニターの準備

テレビを見る

放送画面が表示されている場合は、**手順3**から操作を行ってください。

1 「ホーム」を選ぶ

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「テレビを見る」を選ぶ



3 見たいチャンネルを選ぶ



「1」～「12」のチャンネルを確認したい場合は、「チャンネルを選ぶ」を選んでください。

- メニュー画面が消えた場合、画面に触れると再度表示します。

チャンネルは、指で画面を左右にはらって切り換えることもできます。



左右にはらう

毎朝定番チャンネルについて

「毎朝定番チャンネル」(→44)を「入」にすると、朝(午前5時～10時)に初めて電源を入れたとき、視聴履歴を基に、よく見るチャンネルを自動で選択します。

お知らせ

- モニターで番組を視聴する場合、実際の放送よりも数秒遅れます。
- データ放送を見ることはできません。
- 同じチャンネルを連続して8時間視聴すると、画面が一瞬途切れます。
- 機器を設置する場所の無線状態によっては、視聴や再生中に映像や音声途切れたり、停止する場合があります。(詳しくは→6)
- NHKのBS設置の青ボタン操作メッセージが表示された場合、モニターはレコーダーのリモコンで操作することはできません。レコーダー側で操作し、メッセージを確認してください。

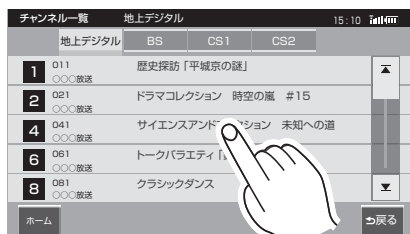
視聴中の操作

28 ページ手順 3 の画面で、項目を選択して操作することができます。



チャンネルを選ぶ

- ① 「チャンネルを選ぶ」を選ぶ
- ② チャンネルを選ぶ



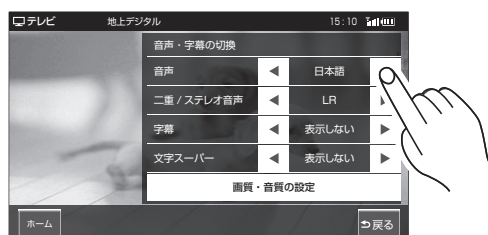
- サブチャンネルを表示したい場合は、「チャンネルリスト設定」(→42) を変更してください。

消音する

- 「消音」を選ぶと、一時的に音を消します。
- 字幕情報がある番組は字幕が表示されます。
(字幕を表示しない場合は、「消音操作での字幕表示」(→44) で変更できます)
 - もう一度押すと音が出ます。

音声・字幕・画質の設定をする

- ① 「音声・字幕・画質」を選ぶ
- ② 項目を選び、設定する



音声・字幕の切換

視聴する音声や字幕表示の切り換えをします

- 音声
- 二重 / ステレオ音声
- 字幕
- 文字スーパー

画質・音質の設定

- 画質：
画質を選びます

スタンダード	標準の画質です
ダイナミック	明暗がはっきりします
ナイト	暗い場所での使用に適しています
ユーザー	「画質の詳細設定」で設定できます

- 音質：
視聴状況に合わせて音声を聞き取りやすくします
(モニターのスピーカーからの出力時に有効です)

スタンダード	標準の音質です
快聴	加齢とともに聞き取りにくくなる高域部分の音声を補正します
お風呂	反響音を抑えます

- アンテナレベル：
アンテナレベルが確認できます
- 無線電波状態：
受信レベルが確認できます

視聴

放送中の番組を録画する

視聴中の番組を、レコーダーの HDD に録画します。

- お買い上げ時は、5 倍録モードで録画します。
録画モードを変更したい場合は、「録画モード設定」(→42) で設定してください。

1 「ホーム」を選ぶ

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「テレビを見る」を選ぶ



3 録画したいチャンネルを選ぶ



「1」～「12」のチャンネルを確認したい場合は、「チャンネルを選ぶ」を選んでください。

- メニュー画面が消えた場合、画面に触れると再度表示します。

4 「●録画」を選ぶ



5 「はい」を選ぶ

録画中の操作

左記の手順 4 の画面で、項目を選択して操作することができます。

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

録画を止める

「■ 停止」を選ぶ

- 複数の番組を録画中は、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

追っかけ再生する

「▶ 追っかけ」を選ぶと、録画中の番組を再生します。

- 複数の番組を録画中は、最後に録画を始めた番組を再生します。

お知らせ

- 追っかけ再生時は、「無線と映像品質の設定」(→42)にかかわらず、「画質優先」で再生されます。
- 複数の番組を録画するには
手順 1 ～ 4 で別の番組を録画してください。
 - ・同時録画できるかどうかや同時録画できる番組数は、接続したレコーダーによって異なります。
 - ・同時録画中、放送視聴ができない場合があります。録画中の番組を視聴する場合は追っかけ再生(→上記)してください。
 - ・番組の同時録画についての詳細は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

予約録画する

レコーダーのHDDに予約録画します。

- お買い上げ時は、5倍録モードで録画します。

録画モードを変更したい場合は、「録画モード設定」(→42)で設定してください。

1 「ホーム」を選ぶ

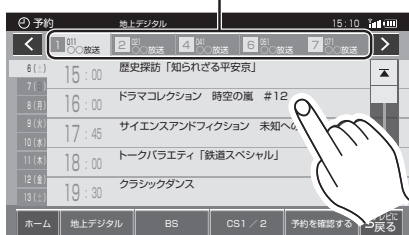
- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「予約する」を選ぶ

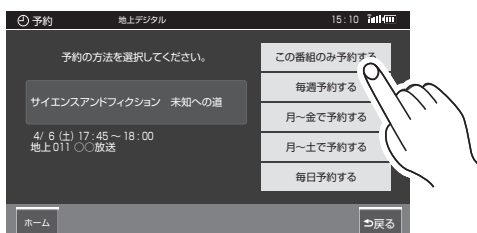


3 予約したい番組を選ぶ

チャンネルを選びます



4 予約内容を選ぶ

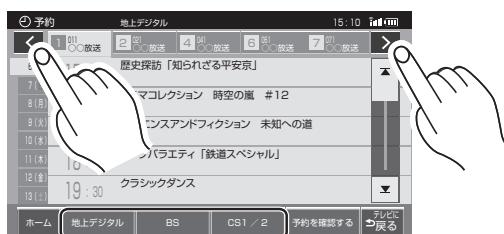


番組表の表示切換

番組表上で表示されているチャンネル、日時は以下の方法で切り換えます。

チャンネルの切り換え

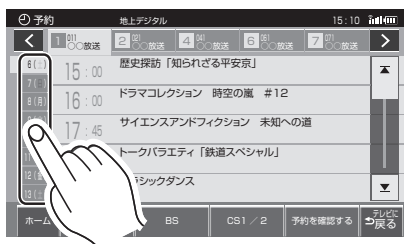
表示されていないチャンネルを表示する場合は、「<」または「>」を選ぶ



放送波を切り換えます

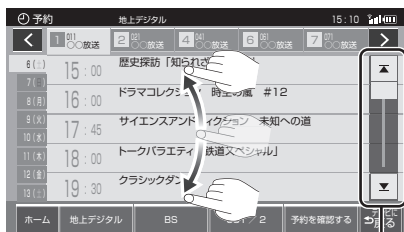
日付の切り換え

日付を選ぶ



時間の切り換え

指で画面を上下にはらう（フリックする）



スクロールバー

スクロールバーで切り換えることもできます。

録画

予約録画する (続き)

予約内容の確認・取り消し

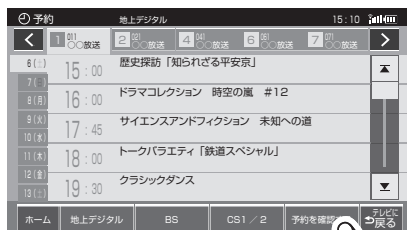
1 「ホーム」を選ぶ

- 表示がない場合は、画面に触れる则表示します。

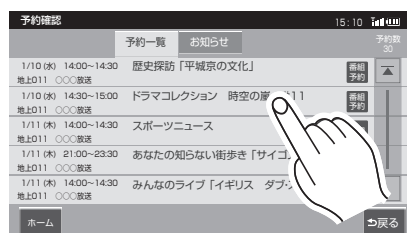
2 「予約する」を選ぶ



3 「予約を確認する」を選ぶ



4 番組を選ぶ



「お知らせ」を選ぶと、予約に失敗した番組の履歴などを確認できます。

5 予約を取り消す場合： 「予約を取り消す」を選ぶ

番組表・予約一覧で表示されるアイコンについて

番組予約	番組表を使って予約した番組やモニターで録画した番組
毎週	毎日・毎週予約の番組
毎日	
月~土	
月~金	
残量不足	レコーダーのHDDの残量が不足して録画できない番組
番組数FULL	レコーダーのHDDの番組数がいっぱい録画できない番組
FULL中断	レコーダーのHDDがいっぱいで録画が中断された番組
重複	予約時間が重なっている番組
シリーズ終了	毎日・毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。
警告	引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組
検索中	時間変更追従を実行中(時間確認中)

- その他、レコーダーで予約した番組のアイコン表示については、レコーダーの取扱説明書またはレコーダー内蔵の操作ガイドをご覧ください。

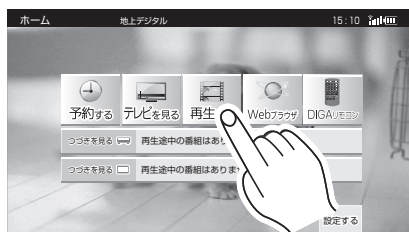
再生する

レコーダーのHDDに録画した番組を再生します。

1 「ホーム」を選ぶ

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「再生する」を選ぶ



レコーダーとモニターで、それぞれ最後に再生した番組はホーム画面から再生できます。

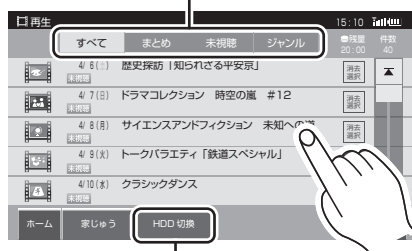


モニターで最後に再生した番組
レコーダーで最後に再生した番組

3 再生したい番組を選ぶ

ラベル

選ぶとラベル内容に合った番組を表示します。



USB-HDDをレコーダーに接続時に表示

選ぶとUSB-HDDの録画一覧を表示します。

- 一度再生した番組は、前回停止した位置から再生します。

録画



再生・消去

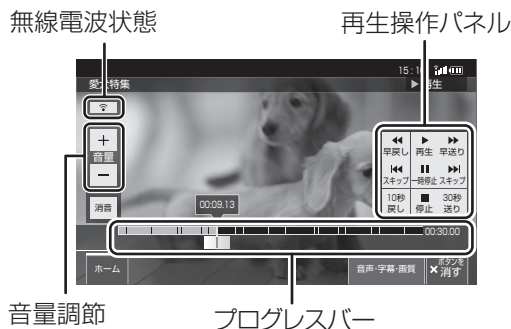
お知らせ

- ラベルについて
 - ・すべて : 録画した番組をすべて表示
 - ・まとめ : 毎日・毎週予約した番組などはまとめて表示
 - ・未視聴 : 録画してまだ見ていない番組を表示
 - ・ジャンル : 選択したジャンルに該当する番組のみを表示
- 録画中の番組は、「無線と映像品質の設定」(→42)にかかわらず、「画質優先」で再生されます。
- 機器を設置する場所の無線状態によっては、視聴や再生中に映像や音声途切れたり、停止する場合があります。(詳しくは→6)
- レコーダーの編集機能で部分消去した番組を再生する場合、消去した箇所が一部見えることがあります。
- モニターの録画一覧には、ダウンロードした番組などの再生制限付き番組は表示されません。

再生中の操作

再生中に表示されるメニューに触れて操作します。

- メニュー画面が消えた場合、画面に触れると再度表示します。



再生操作パネル

早戻し 早送り	押すごとに速度が速くなります (5段階) ●表示中 (→27) は操作できません
再生	再生します
スキップ	場面を飛び越します
一時停止	一時停止します
10秒戻し	約10秒前に戻します
停止	停止します
30秒送り	約30秒先へ進みます

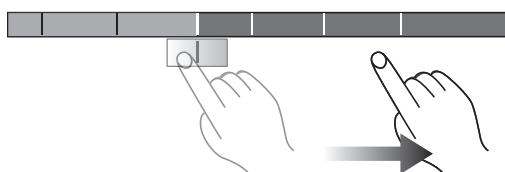
お知らせ

- 表示中 (→27) は、再生操作が遅くなる場合があります。

プログレスバー

プログレスバーは、再生の進捗状況を表示するとともに、以下の操作で再生位置を変更することができます。

プログレスバーの下の四角部分を指で触れたまま左右に移動させる



- プログレスバーに直接触れると、その位置に飛ぶこともできます。

消音する

「消音」を選ぶと、一時的に音を消します。

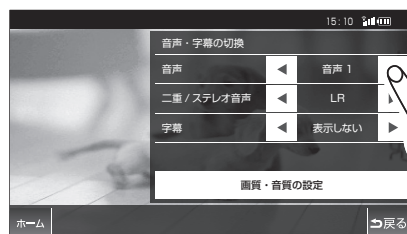
- 字幕情報がある番組は字幕が表示されます。
(字幕を表示しない場合は、「消音操作での字幕表示」(→44) で変更できます)
- もう一度押すと音が出ます。

お知らせ

- 表示中 (→27) は、字幕表示されません。

音声・字幕・画質の設定

- ①「音声・字幕・画質」を選ぶ
- ②項目を選び、設定する



音声・字幕の切換

再生する音声や字幕表示の切り換えをします

- 音声
- 二重 / ステレオ音声
- 字幕

画質・音質の設定

- 画質：
画質を選びます

スタンダード	標準の画質です
ダイナミック	明暗がはっきりします
ナイト	暗い場所での使用に適しています
ユーザー	「画質の詳細設定」で設定できます

- 音質：
視聴状況に合わせて音声を聞き取りやすくします
(モニターのスピーカーからの出力時に有効です)

スタンダード	標準の音質です
快聴	加齢とともに聞き取りにくくなる高域部分の音声を補正します
お風呂	反響音を抑えます

- 無線電波状態：
受信レベルが確認できます

お知らせ

- 表示中 (→27) は、字幕の切り換えは無効です。

消去する

レコーダーのHDDから不要な番組を消去します。

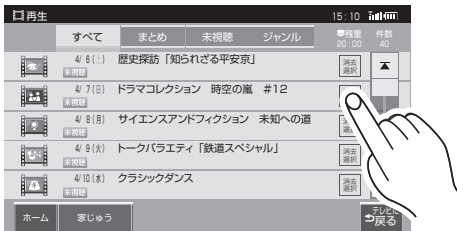
1 「ホーム」を選ぶ

- 表示がない場合は、画面に触れる则表示します。

2 「再生する」を選ぶ

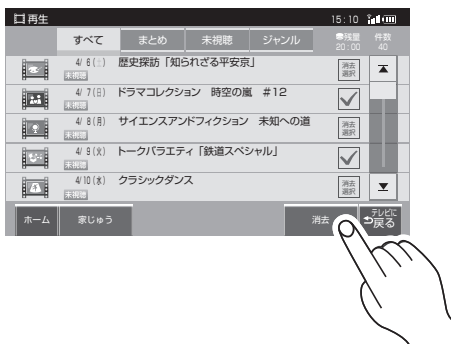


3 消去したい番組の「消去選択」を選ぶ



- ☒が表示されます。

4 「消去」を選ぶ



5 「消去実行」を選ぶ

お知らせ

- レコーダーのHDDから番組が消去されます。一度実行すると元に戻すことはできませんので、よく確認してから実行してください。



再生・消去

モニターで視聴中や再生中の番組をテレビに映す

モニターで視聴中や再生中の番組の続きを、レコーダーと接続したテレビに映して見ることができます。

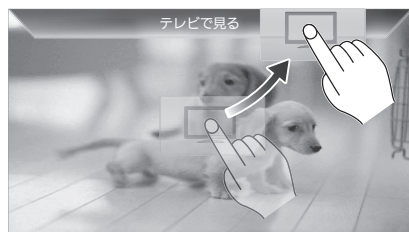
テレビの電源を入れ、レコーダーを接続した入力に切り換えておいてください。

- レコーダーとテレビがピエラリンク（HDMI）で連動している場合は、下記の手順で自動的にテレビの電源が入り、入力が切り換わります。

1 放送視聴中や番組再生中に アイコンが表示されるまで画面を 1 秒以上押す



2 「テレビで見る」にドラッグする



- ドラッグせず指を離すと元の画面に戻ります。

操作が完了すると、モニターの画面にボタンが表示され、レコーダーを操作できます。

- 操作方法などについては、DIGA リモコン (→37) と同様です。

例



お知らせ

- レコーダーやテレビがピエラリンク（HDMI）に対応しているかどうかは、それぞれの取扱説明書をご確認ください。
- レコーダーの動作状態によっては、レコーダーで視聴や再生が始まらない場合があります。

モニターをリモコンとして使う (DIGA リモコン)

モニターの画面をリモコン表示に切り換えて、レコーダーを操作することができます。

1 「ホーム」を選ぶ

- 表示がない場合は、画面に触れる则表示します。

2 「DIGA リモコン」を選ぶ



3 ボタンを選び、レコーダーを操作する

- 各ボタンは、レコーダーのリモコンのボタンと同じ働きをします。



お知らせ

- 具体的な操作方法については、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- レコーダーによっては、一部、動作が異なる場合もあります。

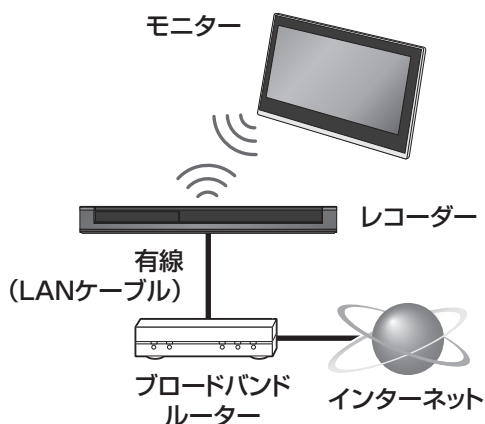


便利機能

Web ブラウザを使う

Web ブラウザを使うと、インターネットを利用してホームページなどのウェブサイトを見ることができます。

- シンプル Wi-Fi で接続している場合は、インターネットに接続したブロードバンドルーターとレコーダーを有線（LAN ケーブル）で接続してください。



- 無線ブロードバンドルーター（無線 LAN アクセスポイント）で接続する場合（→ 11）

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。

お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。制限機能を使用する場合は、「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

- ① モニターのホーム画面で「設定する」を選ぶ
- ② 「その他の設定」を選ぶ
- ③ 「制限項目設定」を選ぶ
- ④ 暗証番号を設定する
- ⑤ 「ブラウザ制限」を選ぶ
- ⑥ 「する」を選ぶ

- Web ブラウザを利用するには、手順④で設定した暗証番号の入力が必要になります。

お知らせ

- ブラウザの機能制限のため、サイトによっては動画などが正しく表示できないことがあります。
- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。
- Web ブラウザの画面や機能は、2013 年 8 月現在のものです。予告なく変更されることがあります。

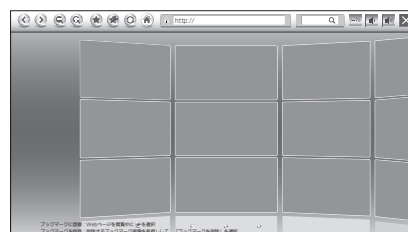
1 「ホーム」を選ぶ

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「Web ブラウザ」を選ぶ



- ブックマーク一覧（→ 40）が表示されます。お買い上げ時に登録されているページはありません。登録しておくくと便利です。



3 見たいページを表示する

- アドレスを入力して表示する（→ 39）
- 検索を使って表示する（→ 39）
- ブックマークに登録したページを選ぶ

ブラウザの基本操作

アドレス（URL）を入力してページを表示する

① アドレスバーを選ぶ



② 見たいウェブサイトのアドレスを入力する (→ 40)

③ 「終了」を選ぶ

検索を使ってページを表示する

① 検索バーを選ぶ

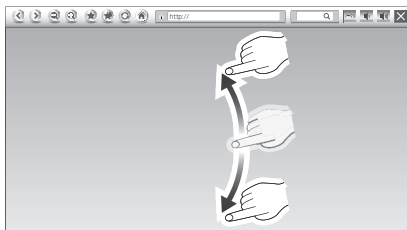


② 検索することばを入力する (→ 40)

③ 「終了」を選ぶ

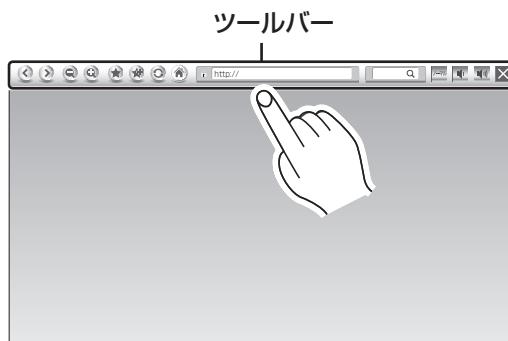
表示ページをスクロールする

画面を上下左右にはらう



ツールバーを使う

ツールバーのアイコンを選んでブラウザを操作することができます。



アイコン	操作
	前の画面に戻る
	先の画面に行く
	画面を縮小・拡大する
	ブックマーク一覧を表示する (→ 40)
	表示中のページをブックマークに登録する (→ 40)
	表示中のページを再読み込みする
	ホームに設定したページを表示する (→ 40)
 または 	Web ブラウザの動作モードを設定する ノーマル: ページを標準設定で表示します。 ライト: ページの表示速度が改善されます。 ページによっては、一部機能が制限されたり改善効果がない場合があります。
	音量を調整する
	Web ブラウザの表示を終了する



便利機能

Web ブラウザを使う (続き)

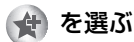
ブラウザの基本操作 (続き)

お気に入りに登録する (ブックマーク)

お気に入りのページを登録しておくと、ブックマーク一覧からそのページに移動できます。


■登録する

- ① 登録したいページを表示中に、ツールバーの



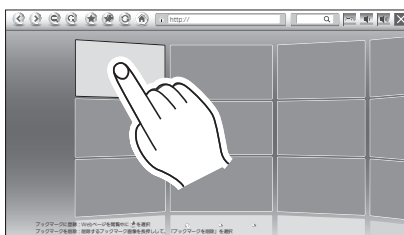
を選ぶ

■登録したページを表示する

- ① ウェブサイトを表示中に、ツールバーの  を選ぶ

●ブックマーク一覧が表示されます。


- ② 見たいページを選ぶ



■登録したページを編集する

- ① 編集したいページを3秒以上タッチする

- ② 編集したい項目を選ぶ

項目名	操作
URL を表示	選択しているページのアドレスを表示する
ホームに設定	ホーム  で表示されるページに設定する
Cookie を削除	ウェブサイトから受け取ったCookieファイルを削除する
ブックマークを削除	ブックマーク一覧から削除する
キャンセル	メニューの表示を消す



文字入力について

文字入力時にキーボードが表示されます。





文字の種類を切り換え

キーボードを終了

- ① キーボードから文字を選ぶ
② 変換の場合は、「変換」を選ぶ
●   で変換する範囲を変更できます。
③ 候補から項目を選ぶ
④ 「終了」を選ぶ

■文字を削除するとき

- ①   で削除する文字を選ぶ
② 「削除」を選ぶ

他の機器とお部屋ジャンプリnkを利用する

お部屋ジャンプリnk機能

モニターでは、お部屋ジャンプリnk対応機器に記録されている番組の再生が行えます。(番組によっては、再生できない場合があります)

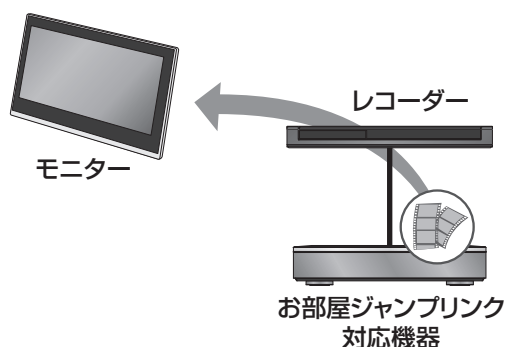
- お部屋ジャンプリnk対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/r_jump/

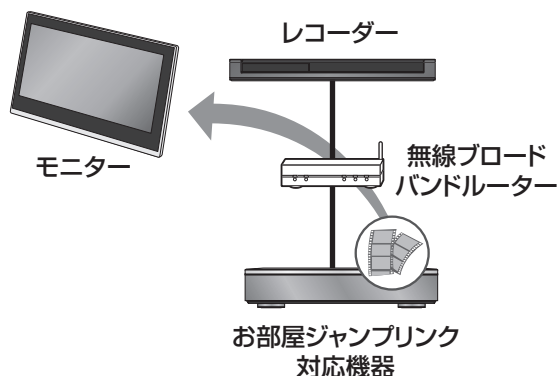
- モニターとお部屋ジャンプリnk対応機器のみでは利用できません。

モニターとレコーダー、お部屋ジャンプリnk対応機器が、ネットワークでそれぞれ通信できる必要があります。

シンプルWi-Fiで接続した場合の例



無線ブロードバンドルーター(無線LANアクセスポイント)で接続した場合の例

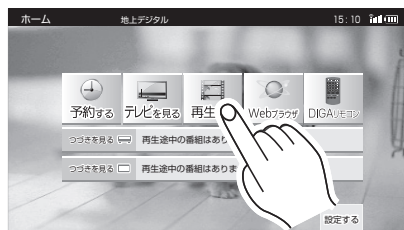


レコーダーの設定で、録画一覧の「家じゅう」表示を有効にしてください。

1 「ホーム」を選ぶ

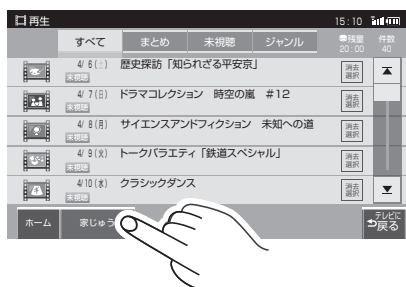
- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「再生する」を選ぶ



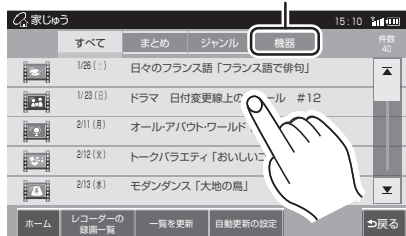
3 「家じゅう」を選ぶ

「お部屋ジャンプリnk」で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。



4 再生したい番組を選ぶ

選ぶと、接続された機器ごとの録画一覧の表示に変更できます



お知らせ

- 再生したい番組が表示されないときは、「一覧を更新」を選んでください。
- 「自動更新の設定」を「入」にすると、レコーダーの電源が「切」のときに、「家じゅう」録画一覧の番組を自動更新します。
- 「家じゅう」録画一覧に表示できる機器は最大10台まで、番組数は1台当たり最大4000番組までです。
- 音声はLPCMのときなど、正しく再生できない場合があります。
- 接続する機器によっては、「まとめ」ラベル選択時のまとめ表示に対応していない場合があります。



便利機能

設定する

モニターの設定を変更します。

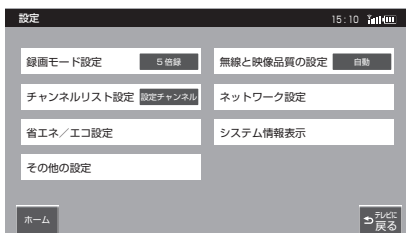
1 「ホーム」を選ぶ

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「設定する」を選ぶ



3 設定項目を選び、設定内容を変更する



録画モード設定

お買い上げ時の設定は【5 倍録】
モニターから録画するときの録画モードを設定します。

- 「DR」「3 倍録」「5 倍録」「15 倍録」のみ選べます。
- 高画質 (DR や 3 倍録) なほど、再生時の通信状況によって映像が途切れたり停止する場合があります。

無線と映像品質の設定

お買い上げ時の設定は【自動】
レコーダーから映像を送信するときに、画質を落とす調整をすることで、映像の途切れや停止を改善します。画質の調整が行われると、チャンネルの切り換えや再生開始までに時間がかかるようになります。

- 「自動」に設定すると、通信状況が悪いときに、自動的に「無線優先」に切り換わります。(2 段階)
一度切り換わると、視聴や再生をやめるまで「無線優先」のままになります。
- 現在の無線と映像品質の状態は、ステータスバーで確認できます。(→ 27)

チャンネルリスト設定

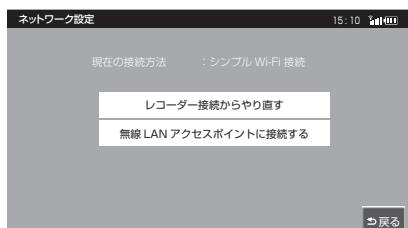
お買い上げ時の設定は【設定チャンネル】
番組表に表示するチャンネルを設定します。
「設定チャンネル」は、レコーダーの「チャンネル設定」で設定されているチャンネルのみを表示します。

ネットワーク設定

レコーダーとの接続方法の変更・確認を行います。

接続方法の変更

レコーダーとの接続方法 (→ 10) を変更します。



接続方法を変更するには、「レコーダー接続からやり直す」を選び、レコーダーで **13 ページ手順 ④** を行い、テレビの表示画面に合った設定を行ってください。

- モニターを無線ブロードバンドルーターと接続する場合は、「無線 LAN アクセスポイントに接続する」を選び、画面の指示に従って設定してください。
- 先にレコーダーのネットワーク接続・設定の変更を行ってください。

ネットワーク／無線状態

電波状態(受信レベル)や使用中の周波数帯などのネットワーク情報や、無線接続が安定しない場合の原因と改善方法を確認できます。

- 「受信レベル」が 30 以上であることが、安定した受信状態の目安です。30 より低い、または通信の途切れなどが発生する場合は、「設置に関するお知らせ」(→ 6) の改善方法を試みてください。

省エネ／エコ設定

【 】はお買い上げ時の設定です

クイックスタート

【切】

「入」にすると、電源「入」時の起動は速くなりますが、待機時消費電力は増えます。

(AC アダプター接続時のみ)

- レコーダーの状態によっては、モニターの起動に時間がかかる場合があります。

エコ充電

【切】

「入」にすると、充電式電池の充電を約 80%に制御するため、充電式電池の寿命を延ばすことができます。

無操作電源

【切】

「入」にすると、モニターを操作しない状態が 3 時間続くと自動的に電源が切れます。

無信号電源

【入】

「入」にすると、放送視聴ができない、ネットワークに繋がらないなどの無信号状態が 15 分 (バッテリー駆動時は 5 分) 継続したときに自動的に電源が切れます。

システム情報表示

ソフトウェアなどの情報を確認できます。

ソフト情報表示

モニターのソフトウェアに関する情報が表示されません。

?

必要なとき

その他の設定

【 】はお買い上げ時の設定です

ソフトウェア更新

モニターのソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新を行います。(→ 45)

- 更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
 - ・モニターの電源を切る
 - ・モニターの AC アダプターを外す
 - ・レコーダーの電源コードを外す

設定リセット

モニターの設定をお買い上げ時の状態に戻します。廃棄や譲渡などでモニターを手放される場合以外は実行しないでください。

消音操作での字幕表示

【入】

「入」にすると、モニターの消音時に字幕を表示します。

音声設定

ダイナミックレンジ圧縮

【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
音声は Dolby® Digital のときのみ有効です。

ダウンミックス

【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

毎朝定番チャンネル

【入】

「入」にすると、視聴履歴を基に朝（5 時～10 時）に初めて起動するときのチャンネルを自動で選択します。

制限項目設定

ブラウザ制限

【しない】

ブラウザ機能の閲覧を制限するために、暗証番号を設定します。

暗証番号変更

暗証番号削除

起動時のガイド表示

【入】

モニターを起動するときに、操作についてのガイドを表示するかどうか選択します。

ソフトウェアの更新について 取り扱いについて

インターネットを使う場合

モニターをネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、モニターの電源「入」時に最新のソフトウェアかどうかの確認を行います。

最新のソフトウェアになっていない場合、ホーム画面にお知らせが表示されます。

「ソフトウェア更新」(→44)でソフトウェアの更新を行ってください。

- シンプル Wi-Fi で接続している場合は、インターネットに接続したブロードバンドルーターとレコーダーを有線 (LAN ケーブル) で接続してください。

SD カードを使う場合

下記ホームページから最新のソフトウェアを SD カードにダウンロードし、レコーダーに SD カードを挿入してください。

その後、「ソフトウェア更新」(→44)でソフトウェアの更新を行ってください。

最新のソフトウェア内容や更新方法など詳細については、下記のサポートサイトをご覧ください。

<http://panasonic.jp/support/av/bd1.html>

お知らせ

- ソフトウェアの更新は、モニターに AC アダプターが接続されていないと実行されません。
- 故障の原因になりますので、以下のことはしないでください。
 - ・ ダウンロード実行中やソフトウェア更新中にレコーダーの電源コードを抜く
 - ・ ソフトウェア更新中にモニターの電源を切る、AC アダプターを外す

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容 (データ) の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

お手入れ

AC アダプターを外した状態で、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。なお、液晶画面には使用しないでください。

お知らせ

- 液晶画面や画面の周りを固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷が付く原因になります。

?

必要なとき

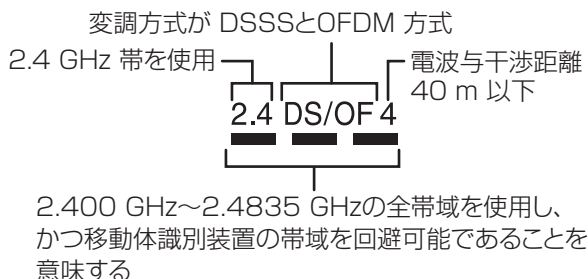
内蔵無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

内蔵無線 LAN は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、モニター本体に記載しています。



無線 LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック お客様ご相談センター (→ 裏表紙)

■ 機器認定

内蔵無線 LAN は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線 LAN に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- モニターの定格銘板を消す
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■ 使用制限

内蔵無線 LAN の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線 LAN の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- 日本国内でのみ使用できます。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。

無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク (SSID*) が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。

— 次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。


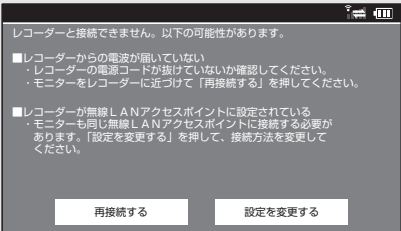
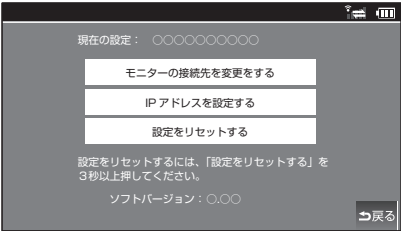
- 電子レンジ
- デジタルコードレス電話機
- その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く (Bluetooth 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など)

— 802.11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。また暗号化方式は「AES」にしてください。

- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

こんな表示が出たら

モニターの表示やランプ(→9)	調べるところ・原因・対策
 赤で速く点滅	<ul style="list-style-type: none">●充電式電池に異常が発生しました。電源を入れて画面の表示をご確認ください。
<p>電源「入」時に</p> 	<p>レコーダーとの接続に失敗しています。</p> <ul style="list-style-type: none">●レコーダーのネットワーク設定を変更した場合、モニター側でもネットワーク設定の変更が必要です。 <p>「設定を変更する」を選んだあと、「モニターの接続先を変更する」を選び、レコーダーとの接続をやり直してください。</p> <p>(→13 ページ手順 ④)</p> 
	<ul style="list-style-type: none">●設定を変更してもうまくつながらない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。(上記画面のソフトバージョンをお聞きすることがあります)

必要
な
と
き

モニターの廃棄について

モニターを廃棄する場合、「設定リセット」(→44)を実行したあと、モニター内蔵の電池を取り出して、電池のリサイクルにご協力ください。

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

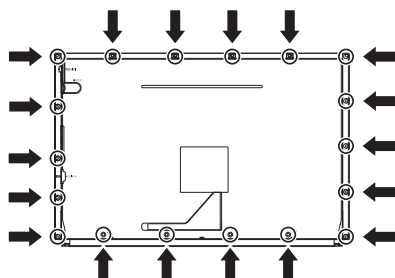
●この図は、モニターを廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。分解した場合、修復は不可能です。

- 電池を使い切ってから分解してください。
- 上手に取り出せない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(→62)へお問い合わせください。

電池の取り出し方 UN-DM15C1

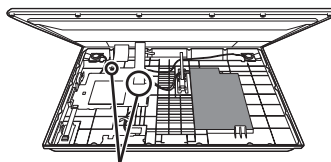
① 下記イラストの矢印箇所のねじを外す (18 本)

- ねじに貼ってあるシールをはがしてください。
- 市販の精密ドライバー (+、サイズ: No.0) で、ねじを外してください。



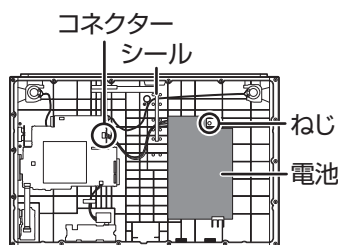
② 画面上部が手前になるように表向きにして、パネル面を開ける

③ コネクター (2 本) を外し、パネルを取り外す



コネクター

④ コネクター (1 本) を外し、シールをはがす



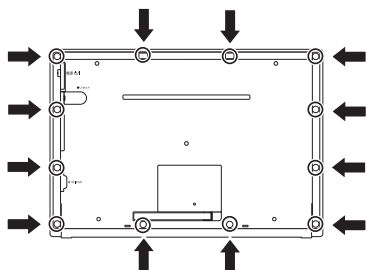
⑤ ねじ (1 本) を外す

⑥ 電池を取り出す

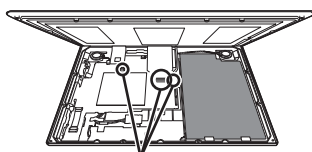
- 電池は貼りつけられていますので、引っ張ってはがしてください。

電池の取り出し方 UN-DM10C1

- ❶ 下記イラストの矢印箇所のねじを外す（12本）
 - ねじに貼ってあるシールをはがしてください。
 - 市販の精密ドライバー（＋、サイズ：No.0）で、ねじを外してください。

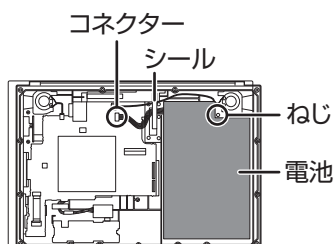


- ❷ 画面上部が手前になるように表向きにして、パネル面を開ける
- ❸ コネクター（3本）を外し、パネルを取り外す



コネクター

- ❹ コネクター（1本）を外し、シールをはがす



- ❺ ねじ（1本）を外す
- ❻ 電池を取り出す

使用済みの充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。
- 不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先



最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

●ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>

?

必要
な
と
き

故障かな !?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- モニターの電源切 / 入時にスピーカーやヘッドホンから聞こえる音
- モニター充電中に、AC アダプターの内部で音がある
- モニターの液晶画面の 0.01% の画素欠けや常時点灯
- 無線の状態によっては、モニターでの視聴や再生中に映像や音声途切れたり、停止する場合があります。

操作を受け付けなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。
- ① **【電源 〇/I】を押し、電源を切る**
 - 切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。
[それでも切れない場合は、リセットボタン(→9)をクリップのようなものを使って押す]



—— **【電源 〇/I】を
3秒以上押す**

- ② **【電源 〇/I】を押し、電源を入れる**

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

お買い上げ時の設定でレコーダーと接続できない

- お使いのレコーダーはモニターとの接続に対応していますか。レコーダーがモニターとの接続に対応しているかどうかは、当社ホームページ (→3) をご覧ください。
- レコーダーのソフトウェアは更新されていますか。最新のソフトウェアに更新されていないと、レコーダーと接続できない場合があります。
レコーダーのソフトウェアの更新については、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

レコーダーと接続できない

- レコーダーの電源コードがつながっていますか。モニターを操作するには、レコーダーの電源コードが接続されている必要があります。
- レコーダーはお部屋ジャンプリンクできる状態ですか。レコーダーの機能が下記の設定になっている必要があります。
 - ー「お部屋ジャンプリンク機能」、「宅外リモート接続機能」：「入」
 - ー「お部屋ジャンプリンク機能」のアクセス許可：「自動」またはモニターを許可また消費電力を抑えるモードでレコーダーの電源を切った場合(節電待機や 0.00 W 待機など)、レコーダーとお部屋ジャンプリンクできません。レコーダーの電源を入れてください。
- レコーダーとの無線接続が正しく設定されていますか。接続をやり直す場合 (→43、47)
- レコーダーの「ネットワーク通信設定」の変更または「かんたんネットワーク設定」を実行していませんか。その場合は、「接続方法の変更」(→43) で接続をやり直してください。

操作ができない

- タッチパネルの操作は、指で触れてください。(爪の先で触れたり、手袋をはめた状態で触れたりすると反応しない場合があります)

視聴・再生ができない 他の機器とのお部屋ジャンプリンクができない

- レコーダーで録画やダビングを行っている場合などレコーダーの動作状態によっては、モニターから視聴や再生などができない場合があります。
モニターとレコーダーの同時動作についての詳しい情報は、当社ホームページ (➔3) をご覧ください。

Web ブラウザを見ることができない

- モニターやレコーダーと接続しているブロードバンドルーターが、インターネットに接続されている必要があります。
- レコーダーの動作状態によっては、Web ブラウザを使用できない場合があります。
モニターとレコーダーの同時動作についての詳しい情報は、当社ホームページ (➔3) をご覧ください。

自動的に電源が切れた

- 「無操作電源〔切〕」(➔43) や「無信号電源〔切〕」(➔43) が働いている場合、自動的に電源が切れます。
- モニターの温度が上昇すると、安全のため自動的に電源が切れます。高温になる場所でのモニターの使用はしないでください。

充電しても使用できる時間が極端に短い

- 電池の寿命です。電池の交換は、お近くの「修理ご相談窓口」(➔62) にお問い合わせください。

接続機器との通信ができなくなった

- 通信が混み合っている場合があるため、しばらく待って再度実行してください。
- ブロードバンドルーターのリセットを行ってみてください。
- ネットワークに関しては、当社ホームページ (➔3) をご覧ください。

レコーダーに付属のリモコンでモニターを操作できない

- レコーダー付属のリモコンでは、モニターを操作できません。

?

必要なとき

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

UN-DM15C1

電源：DC 12 V (DC IN 端子) / DC 7.4 V (充電式電池端子)

消費電力：

(付属の専用 AC アダプター使用時)

動作時 (充電完了時)：約 10.5 W (本体 約 9 W)

動作時 (充電中)：約 13 W (本体 約 11 W)

充電時 (クイックスタート「切」)：約 16 W

充電時 (クイックスタート「入」)：約 20 W

待機時 (クイックスタート「切」)：約 0.13 W

待機時 (クイックスタート「入」)：約 4 W

AC アダプター：

入力：100 V — 240 V、50/60 Hz

消費電力：50 — 72 VA

出力：DC 12 V、2 A

リチウムイオン充電式電池 (内蔵)：

電圧：7.4 V

容量：3600 mAh (最小)

■本体

寸法：

幅 387.6 mm × 高さ 253.5 mm × 奥行 16.9 mm

(突起物を含まず)

質量：約 1.42 kg

許容周囲温度：5℃～35℃

許容相対湿度：10%～80%RH (結露なきこと)

液晶モニター：

15 V 型

(V 型は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です)

画素数：横 1354 × 縦 760

スピーカー：

出力：800 mW + 800 mW (8 Ω)

ヘッドホン出力：

出力端子：ステレオミニジャック (φ3.5 mm、16～32Ω 推奨)

端子数：1 系統

■内蔵無線 LAN モジュール

規格：

IEEE802.11n / IEEE802.11a* /

IEEE802.11g / IEEE802.11b 準拠、

ARIB STD-T71 (5 GHz 帯)、ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯)

(5 GHz 帯は屋内使用限定)

セキュリティー：

WPA™ / WPA2™

(暗号化方式：TKIP / AES、認証方式：PSK)

WEP (64 bit / 128 bit)

UN-DM10C1

電源：DC 12 V (DC IN 端子) / DC 7.4 V (充電式電池端子)

消費電力：

(付属の専用 AC アダプター使用時)

動作時 (充電完了時)：約 9 W (本体 約 7.5 W)

動作時 (充電中)：約 11.5 W (本体 約 10 W)

充電時 (クイックスタート「切」)：約 14.5 W

充電時 (クイックスタート「入」)：約 18 W

待機時 (クイックスタート「切」)：約 0.13 W

待機時 (クイックスタート「入」)：約 4 W

AC アダプター：

入力：100 V — 240 V、50/60 Hz

消費電力：50 — 72 VA

出力：DC 12 V、2 A

リチウムイオン充電式電池 (内蔵)：

電圧：7.4 V

容量：2920 mAh (最小)

■本体

寸法：

幅 264.0 mm × 高さ 181.9 mm × 奥行 15.2 mm

(突起物を含まず)

質量：約 0.69 kg

許容周囲温度：5℃～35℃

許容相対湿度：10%～80%RH (結露なきこと)

液晶モニター：

10 V 型

(V 型は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です)

画素数：横 1024 × 縦 600

スピーカー：

出力：800 mW + 800 mW (8 Ω)

ヘッドホン出力：

出力端子：ステレオミニジャック (φ3.5 mm、16～32Ω 推奨)

端子数：1 系統

■内蔵無線 LAN モジュール

規格：

IEEE802.11n / IEEE802.11a* /

IEEE802.11g / IEEE802.11b 準拠、

ARIB STD-T71 (5 GHz 帯)、ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯)

(5 GHz 帯は屋内使用限定)

セキュリティー：

WPA™ / WPA2™

(暗号化方式：TKIP / AES、認証方式：PSK)

WEP (64 bit / 128 bit)

※ 従来の 11a (J52) のみの対応機器とは接続できません。

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
 - ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
 - Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - “Wi-Fi CERTIFIED” ロゴは、“Wi-Fi Alliance” の認証マークです。
 - Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance” の商標です。
 - “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2” は “Wi-Fi Alliance” の商標または登録商標です。
 - 日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイルWnnを使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
 - 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
 - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
 - ・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
- 詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、下記をご参照ください。
「ホーム」画面を表示し、“設定する” → “システム情報表示” → “ソフト情報表示へ”
 - この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
 - あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。



本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニックにより、又はパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) と (4) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品のホーム画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対して、実費にて、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<http://panasonic.net/avc/oss/portabletv/JPTTP13A.html>

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホン音のエチケットをご使用になるのも一つの方法です。シンボルマーク



放送やネットワークのサービス事業者が提供するサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

?

必要
な
と
き

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。

危険

次の安全上のご注意は、廃棄時取り出した充電式電池に適用されます。

モニター専用の充電式電池です この機器以外に使用しない



取り出した充電式電池は充電しないでください。

- 火への投入、加熱をしない
- くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない
- ⊕ と ⊖ を金属などで接触させない
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない
- 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
- 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
- 水中への投入をしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠ 危険

次の安全上のご注意は、廃棄時取り出した充電式電池に適用されます。

充電式電池の液がもれたときは、素手でさわらない



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグ
を抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- モニター、ACアダプターに変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、モニターや電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

ACアダプターのコード部や電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)



傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

警告

**ぬれた手で、電源プラグの
抜き差しはしない**



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

**コンセントや配線器具の定格を超える使い
かたや、交流100V以外での使用はしない**

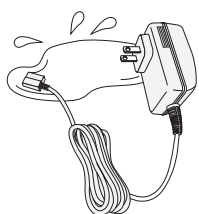


たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の
原因になります。

**水場(浴室や台所など)で
ACアダプターを使わない**



水がかかると感電の原因に
なります。



**内部に金属物を入れたり、水などの液体を
かけたりぬらしたりしない**



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- モニターは防水仕様のため、水のかかるところでもお使いいただけますが、端子ふたを確実に閉めてください。
- 特にお子様にはご注意ください。

モニターは充電式電池を内蔵しています



- 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない
- 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
- 分解・改造しない(製品廃棄時を除く)

発熱・発火・破裂の原因になります。

警告

モニターは可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない



火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

モニターは電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない



モニターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。

- ※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

心臓ペースメーカーを装着している方はモニターを装着部から22 cm以上離す



モニターからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



モニターからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない



モニターからの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

次の安全上のご注意は、製品廃棄時(充電式電池取り出し時)に適用されます。

取り外したねじなどは、乳幼児の手の届くところに置かない

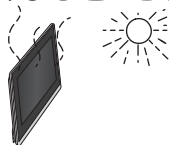


誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- 特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。モニターやACアダプターなどを絶対に放置しないでください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

コードを接続した状態で移動しない

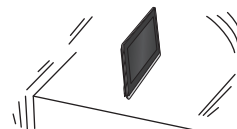


接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない



- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。
- 壁に固定して使用する時は、吸盤ホルダーでモニターを固定してお使いください。

重い物を上に載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

機器のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 注意

モニターは台所などで高温の蒸気の当たるところ、油煙やほこりの多いところに放置しない



高温の蒸気で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。
また、端子などに油煙やほこりがたまり、故障の原因になります。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる



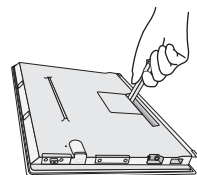
音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

モニターのスタンドをつかんで持ち上げたり、運んだりしない



落下すると、けがの原因になることがあります。
● また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。



モニターやACアダプターに磁気の影響を受けやすいものを近づけない



モニターやACアダプターの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
また、磁気の影響を受けるのでテレビやパソコン等の近くに置かないでください。

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

スタンドは開ききって設置する



開ききらないで設置すると、倒れたり落下し、けがの原因になることがあります。

また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

注意

歩行中はモニターで映像などを見ない



物にぶつかったり、つまずいたりして、けがの原因になることがあります。

ACアダプターのDCプラグをなめない



感電のおそれがあります。
• 特にお子様にはご注意ください。

タッチパネルが割れた場合は、ガラスの飛散に注意する



誤って割れた破損部に触れるとけがの原因となります。

指定のACアダプターを使う



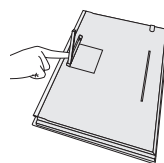
指定以外のACアダプターで使用する、火災や感電の原因になることがあります。

モニターを設置するときや移動させるときは、モニターとスタンドの間に指をはさまないように注意する



指はさみ注意

けがの原因になることがあります。
• 特にお子様にはご注意ください。




保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。
▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	()	—	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは
「故障かな!？」(→50 ～ 51)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- 製品名 ワイヤレスモニター
- 品 番 ☐ UN-DM15C1
 ☐ UN-DM10C1
 お買い上げの品番に記入してください。
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8年**
当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。
ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。


●使いかた・お手入れなどのご相談は ---

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-365** ※携帯電話・PHSからもご利用になります。

●修理に関するご相談は -----

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル  **0120-878-554** ※携帯電話・PHSからもご利用になります。

・上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

安全上のご注意

?

必要なとき

保証とアフターサービス (よくお読みください) (続き)

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
東北地区	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
首都圏地区	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
中部地区	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鷺4丁目42
近畿地区	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
中国地区	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
四国地区	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
九州地区	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
沖縄地区	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。 <http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

0513

あ 行	ページ
■ 追っかけ再生	30
■ 音声	
切り換える（再生時）	34
切り換える（視聴時）	29
か 行	ページ
■ 画質	
選択する（再生時）	34
選択する（視聴時）	29
■ 吸盤ホルダー	
装着する	23
さ 行	ページ
■ 再生する	
番組	33
■ 字幕	
切り換える（再生時）	34
切り換える（視聴時）	29
■ 充電する	25
■ 仕様	52
■ 消去する	
番組	35
た 行	ページ
■ ダウンロード	
ソフトウェア更新	45
な 行	ページ
■ ネットワーク	
設定する	43

は 行	ページ
■ 番組	
再生する	33
消去する	35
■ 番組表	
表示を切り換える	31
予約録画する	31
■ ホーム	27
ま 行	ページ
■ 無線と映像品質の設定	42
■ 無線ブロードバンドルーター	11
■ 無線 LAN	
アクセスポイント	11
設定する	43
や 行	ページ
■ 予約確認	32
■ 予約録画	
番組表を使って	31
予約内容の確認・取り消し	32
ら 行	ページ
■ リセットボタン	9
■ 録画モード	42

ホームページ —

diga.jp

操作方法や困ったときに役立つ
サポート情報を掲載しています。



?

必要
な
と
き

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！



<http://club.panasonic.jp/>



<http://mobile.club.panasonic.jp/>



※このサービスは
WEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は---

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://panasonic.co.jp/cs/>

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時~20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「270#」を押してください。

(番号を押しても案内が続く場合は、「※」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号をご利用いただけない場合 **06-6907-1187** ■FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は-----

パナソニック 修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル  **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

・上記電話番号をご利用いただけない場合は、
各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

●有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

本機の使用上、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 長年ご使用のワイヤレスモニターの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がある
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
本体の電源を切り、AC
アダプター使用時はコ
ンセントから電源プラグ
を抜いて、必ず販売店に
点検をご相談ください。

パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2013

VQT5D45-2
F0813SN2044